

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	武豊町			代表者名	鳥羽 悠史
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	町長付	連絡先電話番号	0569-72-1111
担当者役職	主査	担当者氏名	青木 清光	連絡先E-mail	
住所	470-2392 愛知県武豊町字長尾山2番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	BPR推進事業
概要	DX推進には欠かすことのできないBPRについて庁内における知見や経験がないため前例踏襲的に事業や行政サービスを継続している。また、持続可能な行政サービスの提供においてECRSを前提に行政サービスのリ・デザインが必要な状況である。DX推進計画が今年度されるが、「足し算のデジタル化」にならぬように研修を通じてECRSの視点や実践的なBPRの手法を習得したい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	822	令和8年1月9日	事前打合せ	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月16日	事前打合せ(オンライン)	9時45分	10時30分	
				活動時間（分）	45
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	本町では初めての取組みで、当日の流れ等の必要事項について丁寧に教えていただき当日のイメージがつかめた。また、実施にあたり参加者の心理的安全性の担保など注意しておいた方を提示いただいた。加えて、本町のデータに基づき講義をしたい旨の依頼があり、受講者の当事者意識の向上にもつながるし、今回の研修の目的が本町のニーズと合致しているため。
アドバイザーへの要望事項	当該研修により、職員の当事者意識と事業やサービスの目的意識を向上させることで、本町が直面する課題等について自分事で考え、本町に置けるDX推進が一層加速する、挑戦を後押しする機運を醸成できることを期待します。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	3人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	3	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本町にはDX推進主体がなく、今年度DX推進計画が策定されることとなっている。したがって、本庁におけるDX推進の機運醸成はできておらず、「DX＝システム導入」といった手段が目的化している。4月より新町長が誕生し、DX推進に意欲を示しているが現場との温度差がある。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	研修を通じてDX推進において必要な「意識変革」と「BPR」を実践的に体験することでDX推進の目的意識や当事者意識の向上を図り、日ごろの業務において各課が業務改善や業務改革が積極的に行われるようにしたい。

